

クリバヤシ・キャロル

サチコ

天野 楓
あまのかえで

三上 伊作
みかみ いさく

牧村
まきむら

大家さん

滝田 ひかり
たきた

※ 挿入歌 讚美歌一〇六番 「あらの荒野の果てに」

ボロアパートの一室。天野楓の部屋。

楓 (気持ち良さそうにいびきをかいている)

サチコ いびきです。

楓 (いびきをかいている)

サチコ とても気持ちよさそうに寝ています。夕方のちよつとした時間にこたつでうたた寝。至福のひとつですね。私にも覚えがあります。

楓 (いびきが大きくなる)

サチコ ……かなり本格的に眠っているようです。(ヤカンのお湯が湧く音)楓さん、楓さん。

楓 (いびきをかいている)

サチコ お湯が湧いているみたいですけど。

「コンコン」とドアをノックする音。

サチコ 楓さん！ 誰か来ましたよ！

楓 (「ンゴツ」と鼻を鳴らして目覚め) あ？ え？ なになに？

「コンコン」とドアをノックする音。

サチコ 誰か来ました。あとさつきからずっとヤカンがボコボコいってます。

楓 ああ！ そうだよ、火いかけっぱなしだった！(コンロの火を消す音)

サチコ (ため息) 気をつけてくださいよ？

楓 いやあ助かったよ。ありがとね、サチコさん。

三上 (ノックの音) ごめんください。

楓 はい！ (ドアを開ける音) お待たせしました。

三上 お忙しいところすみません。

楓 忙しくなんてないですよ。こたつで口あけて寝てたところです。

サチコ 初対面の人にそこまで正直に打ち明ける必要はないように思いますが、まあこの大らかさが、楓さんのいいところです。

三上 お休み中でしたか。だったらなおさらすみません。

楓 どちら様でしょうか？

三上 このたび、お隣の3号室に入居しました……。

楓 ああ、受験生？

三上 はい？

楓 大家さんが言っていました。今度受験生が越してくるって。乾いぬいさんですよ？

三上 ……三上です……。

楓 あ！ 大家さんまたいい加減なこと教えて……。きつとね、「上から読んでも下から読んでもおんなじ名前」って覚えてるんですよ。

三上 ああ、なるほど……。

楓 ひよつとして受験生っていうのも間違ってます？

三上 いえ、それは……。資格を取るために国家試験を受けようとはしていますので……。

楓 へえ。受かるといいですね。

三上 今年はもう落ちたんですが……。

楓 そうなんだ。

三上 今までは働きながら勉強していたんですけど、仕事を辞めてちよつと本腰を入れようかと……。

楓 ああ、それでこの安アパートに。ありがたいですもんね。お風呂と台所が付いて今どき家賃二万円は。

三上 ……二万円？

楓 おまけに秋には裏の林で栗が拾い放題ですから。三上さんもあと二カ月早く引っ越してくればよかったのに。

三上 大家さんにも同じことを言われました。

サチコ アパートの裏手には栗の林が広がっています。ここが「栗林ハイツ」と名付けられたのはそのためです。ちなみに、大家さんの名前は「倉林」です。……
紛らわしいです。

楓 あたしはそれが決め手でしたよ。栗が好物なもんで。

三上 僕はとにかく静かな部屋を探していて……。あの、家賃二万円て……

楓 確かにねえ、静かな時はものすごく静かなんですけど……。

三上 ……はい？

サチコ あ、楓さん、それ言っちゃう？

楓 立ち話もなんですから、あがってお茶でも飲んでいきます？ ちようどお湯が湧いたところだし、裏で拾った栗の渋皮煮がありますよ？

三上 いえ、まだ荷物が片付いていませんし、今日はほんのご挨拶に。あ、これ、つまらないものですが。

楓 あらま、どうもご丁寧に。

サチコ タオルのようです。

楓 薄―い壁一枚のお隣同士なので、どうぞよろしく。天野楓です。

三上 素敵なお名前ですね。

楓 いや、自分でもずっとそう思ってたんですけど、最近、名前の由来を聞いちゃって……。知ってます？ 楓の葉っぱってモミジみたいなの。あれがカエルの手に似てることから最初は「カエルデ」って呼ばれたのが、いつからか縮まって「カエデ」になったんだって。なんかちよつとがっかりですよ。まあカエルは好きなんですけどね、子どもの頃飼ってたし。三上さん下の名前は？

三上 ……伊作です。

楓 与作？

三上 伊作。なにか、聖書からとった名前だそうぞ。

サチコ 聖書に出てくるイサクは、お父さんのアブラハムが一〇〇歳、お母さんのサラが九〇歳の時に生まれ、なんと一八〇歳で亡くなっています。その長い人生の中で、生贄いけにえにされそうになったり、息子にまんまと騙されたりと、さまざまな苦勞を味わいました。ですが近所の人たちとトラブルがあった時も、争いになら

ないよう根気よく努めるなど、私の口から言うのもなんですが、たいへんよく出来た人物だったようですね。三上さんも、たとえご近所でなにがあるうと、イサクのように友好的に、笑って済ませられる人だといいですけれど。

三上 ヘブライ語かアラビア語かで、「彼は笑う」って意味らしいんですが……。

楓 いいお名前じゃないですか。「カエルの手」よりは格段に。

三上 はあ、恐れ入ります。すみません、長々とお邪魔しました。

楓 いえいえ。じゃあお勉強がんばってください。

三上 ありがとうございます。

楓 あたし駅前のパン屋で働いてるんで、よかったら買いに来てくださいね。

三上 はい。今度ぜひ。

楓 パンの耳は一袋十円ですから。たいてい朝一あさごちで売り切れちゃうけど。

三上 わかりました。それでは失礼します。

楓 どうも。

ドアを閉める音。

楓 うーさぶ。お湯冷めちゃったかな。

サチコ 独り暮らしの女性が知らない男の人をいきなり招き入れるのはどうかと思いますよ？

楓 でも聖書に出てくる名前の人だよ？ それにタオルなんかくれちゃって真面目そうだし。

サチコ お茶に誘ったのタオルもらったり名前聞いたりする前じゃないですか。

楓 あ、サチコさんのことも紹介すればよかったね。

サチコ ……今さらですけど楓さんて、本当に屈託くつたくのない人ですよね。

楓 お隣さんなんて久しぶりだなあ。

サチコ 大丈夫でしょうか。ちよつと気の弱そうな人でしたけど。

楓 静かに勉強できるといいけどねえ。

サチコ もしアレが聞こえるとしたら、難しいんじゃないですか？

楓 アレねえ……。今日もそろそろ始まるかな。
サチコ 毎晩毎晩、熱心ですよね、牧村さんも。
楓 あの人も真面目だからねえ。

どこからかかすかに「お〜おおおお〜」という唸り声。

*

翌朝。鳥の鳴く声。

サチコ おはようございます。朝です。楓さんは夜明けとともに出かけてしまいました。パン屋さんのお仕事は朝が早いんです。

ややせわしないノックの音。

三上 天野さん、お隣の三上です。朝早くからすみません。ちょっとお尋ねしたいことがあります。

サチコ おっと。これは困りましたね。

三上 天野さん？ まだお休みですか？

サチコ ……居留守を使っちゃいましょうか。

三上 天野さん！ 天野さん？ 栗とカエルが好きな天野楓さん！（激しくノック）
サチコ ……ドアを壊されても困るので、とりあえず声だけかけてみます。

——天野さんでしたら、もうお仕事に行かれましたよ。

三上 あ、すみません。……こちらにお住まいの方ですか？

サチコ ええ、まあなんとというか、留守番の者です。

三上 あの……つかぬことを伺いますが、昨夜、妙な音をお聴きになりませんでしたか？
た？

サチコ さあ……どうだったでしょう。

三上 なにかこう……不気味な、うめき声のようなものが……。

サチコ 栗林に風でも吹いていたんじゃないんでしょうか。

三上 ……そう……かもしれませぬ……。いや、そうですよね。きっとそうに違いない……。朝っぱらからお騒がせして申し訳ありませんでした……。

サチコ いえいえ。

三上 ……あの、もうひとつお訊きしたいんですが……。

サチコ なんですしょう。

三上 ……下の階つて、二軒とも空き部屋なんじゃないんですか？

サチコ 空き部屋……かどうかは私じゃはつきりわからないので、大家さんに訊いてみてください。この時間なら、表で掃き掃除をなさってると思いますから。

三上 ……わかりました。ご親切にありがとうございます……。

サチコ どういたしました。——ふう。……どうやら面倒なことになりそうですね。

*

大家さんが鼻歌を歌いながら掃き掃除をしている。

三上 おはようございます……。

大家 あら、真山^{まやま}さん。ずいぶんお早いこと。

三上 ……三上です。

大家 やだ、ごめんなさい。そうよ、三上さんよね。上から読んでも下から読んでもおんなじ名前つて覚えてたもんだから。お勉強ははかどってる？

三上 まったく手につきませぬ……。

大家 そういう時は思い切つて寝ちゃったら？

三上 眠れないんです。夜になると、どこからか奇妙な音が聞こえてきて……。

大家 お隣の天野さんじゃない？ あの人、時々いびきかくらしいのよ。

三上 いや、お隣よりもむしろ……そう言えば、天野さんのところ、家賃二万円なんでするか？

大家 きゃー。バレちゃった！

三上 僕の部屋代は四万円ってどういうことですか？

大家 それだって普通に考えたらずいぶん安いと思わない？

三上 確かにそうですけど、でも同じアパートなのに倍の値段って……。

大家 3号室が倍の値段ってわけじゃないの！ 4号室が半額なだけなの！

三上 だからどうして！

大家 えーっとそれはね、……大家さんの気まぐれかな？

三上 ……目を見て言ってください。

大家 聞いても出ていかないって約束してくれるんなら言ってもいいわ。

三上 ……聞いたら出て行きたくなるような理由があるんですね？

大家 あなたの部屋にはないわよ。

三上 隣の部屋にはあるんだ……。

大家 まあ、受け止め方は人それぞれでしょうけどね。

三上 ……いわくつきなのは天野さんの部屋だけですか？

大家 ん？

三上 僕の下部屋、あそこ空き部屋なんですよね？

大家 1号室？ ああ、うんうん、そうよー。あそこは空き部屋よー。

三上 目を見て言ってくださいよ！

大家 じゃあわかった！ 大家さんまた気まぐれおこしちゃう！ 受験勉強がんば

れー！って応援の気持ちをこめて、あなたのお部屋代も二万円にしてあげる！

三上 え、ほんとですか？

大家 ヒューヒュー！ 大家さん太っ腹く！

三上 いやそれはものすごく助かりますけど……。

大家 あら！ もうこんな時間！ 帰って朝ドラ見なくっちゃ！ それじゃあ三上

さん、これからもどうぞよろしくね！

三上 待つてください！ なにか物音がするんですよ、下の部屋の方から！

大家 わからないことは天野さんに訊いてちょうだい。

三上 大家さん！

サチコ 三上さんはそのままパン屋さんに向かったようです。大家さんに訊けと言われれば大家さんのところへ、天野さんに訊けと言われれば、楓さんの勤めるパン屋さんへ。三上さんという人は、たいへん聞き分けのいい方ですよね。

楓 それはよかったじゃないですかー。

三上 ええ。おかげさまで。貯金を切り崩して生活する身にとっては、願ってもないことなんですけど……。

楓 あの大家さん、妙にノリのいいところがありますからね。あ、いらっしやいませー。

三上 いや、僕が言いたいのは家賃が二万円になったことじゃなくてですね……。

ひかり あのー、すみません。今日、パンの耳は……。

楓 あーごめんね、今朝はもう売り切れちゃった。

ひかり (泣き崩れんばかりの悲しさで) そうなんですか……。

楓 なんだひかりちゃん、また金欠病？

ひかり ピアノの生徒さんが一人辞めちゃったんですよ……。一番豪華なおやつを出してくれるお宅だったんですが……。

楓 それは惜しいことしたね。

ひかり 生演奏のバイトも、今お店が改装工事中で年内はお休みだし、もうどうやって食いつないだらいいものか……。

三上 あの……よろしければこれ、どうぞ。

ひかり ……いいんですか？

三上 ええ。なにか買わなきゃ悪いかと思っただけで、食パンの耳がほしかったわけじゃありませんから。

ひかり じゃあ十円……。

三上 いいですいいです。お譲りします。

ひかり でも……。

楓 甘えちゃえば？ この人、家賃が半額になったところだから余裕があるし。

三上 いや、僕だつてカツカツですけど。

ひかり こんなところに神様が……。

楓 神様じゃなくて三上さまね。栗林ハイツに新しく入ったお隣さんなの。

ひかり はじめまして。滝田ひかりです。日々のパンにも事欠く暮らしぶりですが、ことかこれでも一応ピアノリストです。

三上 どうも。三上です。

ひかり 本当にありがとうございます。このご恩は一生忘れません。

三上 忘れてくださって結構です。

ひかり いいえ、いけません。いつか必ずやご恩返しを！ それじゃあ楓さん、また来ます。

楓 次はもうちょつと早くにおいでねー！ 三上さん、見かけによらず男おたく気がありますね！

三上 十円ぼつちで大きいですよ。そんなことより……。

楓 でも顔色が悪いなあ。目の下真つ黒ですよ？ 部屋に戻つて寝た方がいいんじゃないんですか？

三上 部屋で眠れないからわざわざ訊きに來ているんです。あなたには聞こえませんか？ おかしな物音や唸り声があるかな？

楓 すいませんけど、今からパンを焼かなくちゃいけないんですよ。帰つてからでもいいかな？

三上 あのアパート、なにかあるんですね？

楓 んー……じゃ、時間がないから手短に言いますね？

三上 ……お願いします。

楓 あたしの部屋には「いる」。1号室には「出る」。

三上 4号室には、「いる」……。1号室には、「出る」……。

楓 手短に言えばね。じゃあまた後で！

三上 「いる」……。「出る」……。なにが……？

サチコ 家賃が破格のアパートに、「いる」、または「出る」などと言われるのは、たいていの場合、「幽霊」と相場が決まっています。すでにお気づきの方もいらっしゃるかと思いますが、楓さんの住む4号室にいる幽霊とは私のことです。もう一人は一号室の……あ、ちょうど今出てきました。——こんばんは牧村さん。

牧村 ああ、こんばんは。

サチコ これからまたお稽古ですか？

牧村 はい。今日は仕事が早く終わりましたもので。

サチコ 毎日お精が出ますね。

牧村 他にこれといった楽しみもありませんし。自己流なのでちっとも上達なんかしないんですが、なんといいですか、気分がすっきりするんですよ。

サチコ ああ……それは、なによりですねえ。

牧村 いい年をして、笑われるかもしれませんが。

サチコ 素敵じゃないですか。讃美歌を歌うのがご趣味だなんで。

牧村 でも時々思うんですよ。私のような神様から縁遠い人間が、信者でもないくせに、神様を讃えて歌うのはバチあたりなんじゃないかって。

サチコ 考え過ぎですよ。仏教徒だってみんなクリスマスのお祝いをするじゃありませんか。

牧村 はい。ですからせめて歌っている時だけは、一生懸命をこめて祈るようにしています。

サチコ 立派なお心がけですね。

牧村 ありがとうございます。それでは。

サチコ 牧村さんが毎晩練習に励んでいるのは、讃美歌の一〇六番、日本では「荒野の果てに」と呼ばれているクリスマス・キャロルです。とても有名な曲ですから、みなさんもサビの部分くらいはお聴き覚えがあることでしょう。こんな歌です。(歌う) ♪グローオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオーリアー♪

これを牧村さんが、一生懸命心を込めて、祈るように歌うとこうなります。

牧村 (聴く者の心をざわつかせるほど不安定な音程、かつ不気味な声で) おくお
おとおくおとおくおとおくおとおく……。

サチコ (牧村さんの歌声が続く中で) ……三上さんが怯えるのも、無理のない話
です……。

*

ぐつぐつとお鍋の煮える音。

楓 はい、じゃあどうぞ召し上がれ。

大家 まーおいしそ。いただきまーす。

サチコ 冬はやっぱりこれですよね。

楓 ほら、三上さんも遠慮しないで。

大家 天野さん、カラシないの？ カラシ。

楓 そうだよ、カラシね！ ちよつと待つて。あ、そうそう、卵は一人一個ずつね。

三つしか入ってないけど、サチコさんは食べられないから気にしないで。

大家 あら、卵がダメなの？

楓 卵に限らずなんにも食べないんだよね。

サチコ はい。幽霊ですから。

大家 一緒にお食事出来ないなんて残念ねえ。

楓 そうなんですよー。せつかくルームメイトがいるのに飲み食いだけはひとりぼ
っちつてのが……ちよつと三上さん。さっきからなに固まってんですか。早く食
べなつて。

三上 ……なんなんですかこれは……。

大家 おでんよ？ 食べたことない？

三上 ありますよ！ そうじゃなくて！

サチコ 栗林ハイツの特殊事情を三上さんに説明するため、今夜は大家さんにも我
らが4号室にお運び願いました。楓さんによれば、たとえ目的がなんであれ、寒

い夜に人が集まる時は鍋物と決まっているそうで、その独特な哲学にのっとって、今みんなでおでんをつついています。

三上 (深く長いため息) ……もうなにがなんだか……。

楓 だから、サチコさんも牧村さんも、もともとはこの住人だったの。で、サチコさんはずーつといるけど、牧村さんは夜になると出てくるの。

三上 ……天野さんは、知ってて入居したんですよね？

楓 栗が拾い放題ということをね。

三上 ニヤリとしている意味がわかりません。

大家 その時は1号室と4号室しか空いてなかったのよ。

楓 さすがに知らないおじさんと同居するのはちよつとね。それに二階の方が断然日当たりがいいし。

三上 貸す方も貸す方ですけど、ためらいもせず借りる方も……。

サチコ やっぱり普通はイヤですよ？ 幽霊が二人もいるアパートなんて。

三上 そりゃあだつて！……つてあなたには言いづらいな……。

大家 だけど二人ともね、お家賃は払ってくれなくなっちゃったけどとつてもいい人たちよ？ だから安心してお勉強に励んでちょうだい。

三上 励んでちょうだいって言われても、あれを聞きながらどうやって!!?

牧村 (オリジナルな節で) あくらくのくの果くてにく 夕日はく落ちてく たくえくなくるくしくらべく あくめくよくりくひくびくく

楓 あー。今夜も見事にでたらめだねえ。

サチコ 心は込めてらっしゃるそうですけど。

楓 逆に込めない方がいいんじゃないのかなあ。

大家 牧村さんね、クリスマスに教会から聞こえてきた讚美歌にすごく感動したんですつて。そんな話をしたすぐ後だったわねえ。突然、眠るように亡くなっちゃつて。

牧村 ぐろーおおおおおおおおおお

大家 だけど死んでからも新しい趣味を始められるなんて、なんだか希望が持てるわね！

三上 あのうめき声を聞きながらよく「希望」なんて言葉が出てきますね。

楓 でもこれで三上さんもさ、不気味な音の正体がわかってすっきりしたでしょ。

大家 ことわざにもあるわよね。「幽霊の、正体みたり枯れ尾花」って。

楓 まあ今回は正体みてもやっぱり幽霊ですけどね。

三上 ……(ため息) もう引つ越しする余裕なんてないしなあ……。

大家 なによ三上さん！ 出ていかないって約束で秘密を教えてあげたのに！

三上 出ては行きませんか、牧村さんに歌うのを控えるように言ってもらえませんか？

大家 ヤダ。

三上 そういうの大家さんの仕事でしょう？

大家 大家さんはね、生きていようが死んでいようが、頑張っている人を分け隔てへだなく応援してるの。

楓 それに牧村さんと話しできるの、サチコさんだけだしね。

三上 ……はい？

楓 なんか視えてないみたいなんですよ。生きてる人間のことは。

サチコ その上どうやら、ご自分がもう亡くなっていることに気がついていないみたいですよ。

三上 ……あらゆる面でなんて厄介な人なんだ……。

大家 さみしい話じゃないの。家庭もたずに会社とアパートの往復だけで、自分でも気付かないうちに一生を終えちゃったなんて。そんな人から唯一の楽しみを奪うような真似、あたしは反対。

サチコ 私だって注意なんか出来ませんよ。牧村さん、一応隣近所に気を遣って、わざわざ裏の林で歌の練習なさってるのに。

牧村 あくめくなくなるううたをく　よしろくこくびく　きくきぬく

三上 だからってこっちは喜んで聴けたものじゃないんですけど……。

楓 もうこの時間になったら布団かぶってとっとと寝ちゃえばいいじゃないですか。
三上 僕、夜型なんですよ……。

楓 牧村さんも夜行性だからなあ。

牧村 ぐるーおおおおくおおおおくおおおおくりや〜

サチコ ……せめてもう少し歌唱力をつけてくれたらいいですけどねえ。

大家 日に日に下手になってる感じよね。

三上 なんのための練習なんですか。

楓 あ、いいこと思いついた。

牧村 ア〜〜メ〜〜ン〜〜。

*

ひかり 本当にですか？ 楓さん。

楓 だってひかりちゃん、もうすぐ家賃滞納でおん出されそうなんですよ？

ひかり そうなんです……。もつと安いところに引っ越ししようにも、ピアノを置ける物件がなかなか見つからなくて……。でもいくらなんでも二万円て！

楓 いいのいいの。うちの大家さん、がんばってる人を誰でも分け隔てなく応援してくれるから。

ひかり ありがとうございます！ このご恩はいつか必ず！

楓 いつかと言わず、すぐに返してもらおうから。はい。パンの耳十円。

サチコ 楓さんが思いついた「いいこと」というのは、音楽家のひかりちゃんに、

牧村さんの歌のレッスンをしてもらおう、というものでした。もちろん指導の内容を伝えるのは私の役目になりますが、それで少しでも牧村さんが上達すれば、三上さんの不快指数も多少は下がるのではないか、との目論見もくろみです。こうしてひかりちゃんは、無事に栗林ハイツの新たな住人となったわけですが、そこからなかなか思惑通りに事は運びませんでした。

ぐつぐつとお鍋の煮える音。

楓 視えないの!?

ひかり はい……。

大家 じゃあテストです。今ここで水炊き囲んでるのは何人だ？

なんにん

ひかり 楓さん、大家さん、三上様の三人です。

三上 「様」つけて呼ぶのやめてください。

大家 やっぱりサチコさんのことはわからないのね。

ひかり すみません、靈感があることが入居の条件とは知らなくて……。

楓 いやあ、事前に確かめなかったこっちが悪いんだけどね。

ひかり 私、出て行かなくちゃいけませんか？ 家賃二万円て、霊能力割引なんで
しょうか？

大家 まあそうとも言えるけど、別にいいのよ。部屋が埋まってくれてあたしはうれ
しいわ。

ひかり ありがとうございます！ ……ところで、どちらにいらつしやるんです
か？ サチコさんて方は。

楓 あたしのすぐ隣だよ。

ひかり そうですか。はじめまして。楓さんにはお世話になってます、2号室に
越してきた滝田ひかりです。これからどうぞよろしくお願いします。それから今
日はお招きありがとうございます。あたし、お肉食べるの半年ぶりです。

楓 右隣じゃなくて左側ね。

ひかり あ！ 失礼しました！

サチコ 視えないところをどうもご丁寧に。

楓 (至極残念そうに) そっかあ、視えないのかあ……。

ひかり でもなにかこう、ぼんやりと温かいものは感じますよ？

大家 水炊きの湯気じゃないの？

三上 じゃあ当然、あれも聞こえてないんですよね？

ひかり ものすごい讚美歌っていうやつですか？

三上 全身全霊を込めた歌声が、今まさに鳴り響いているんですけど。

牧村 みくうくたくをく聞ききてく ひくつくじくかくいくらはく まくぶくねく
にくふくせるく みくこくをくおくがくみぬく

ひかり う〜ん……。

牧村 ぐるーおとおおお〜おとおおお〜おとおおお〜
ひかり ……なんとなくですけど、神様を讃えるのとは程遠い不吉な波動が伝わってくるような……。

楓 三上さん、ごめん！ 作戦失敗！

三上 いいんです……。期待してませんでしたから……。

ひかり 本当にすみません。せっかくご恩返しができるチャンスだったのに。

三上 ……でしたらせめて……ピアノの音はなるべく小さめをお願いします……。

*

サチコ 要するに、ピアノを弾く住人が一人増えただけの話です。静かに勉強したい三上さんにとってはまったく喜ばしくない展開の中、誰もが牧村さんへの歌唱指導をあきらめたように思われました。ですがただ一人、わずかな可能性に賭けてみようとするチャレンジャーがいたのです。みんなで水炊きを囲んでいたあの夜、「お役に立てず申し訳ない」と何度も謝りながら、お鍋の肉をほとんど一人で平らげていたひかりちゃんです。

ひかり 伴奏をつけてみようと思います。

楓 伴奏って牧村さんの歌に？

ひかり はい。曲は「荒野の果てに」でしたよね？

大家 そうよ。(歌う) 荒野の〜果てに〜ってあれよ。

ひかり 大家さん、いいお声ですね。

大家 (嬉しそうに) あらやだ！ これ以上はお家賃下がないんだから！

三上 伴奏って言ったって……牧村さんの声、聞こえないんですよね？

ひかり 私に聞こえなくてもあつちに聞こえればしめたものです。牧村さんの歌って、どんな音程がはずれていつてるんでしょう？

楓 うん。もはやあれはこの世に二つとないまったくオリジナルの曲だと思う。

ひかり ということはつまり、正しいメロディを全然覚えていないんですよ。

楓 ああ、なるほど。そうだろうね。

サチコ 「自己流」って仰ってましたから。

ひかり とにかく、牧村さんが歌ってる間、ダメもとでピアノを弾き続けてみます。

そういうことですから三上さんにはこれをどうぞ。

三上 なんですか？ これ。

ひかり パチンコ屋さんがタダでくれる耳栓です。

*

サチコ こうしてひかりちゃんは、毎晩ピアノを弾き続けました。時々には自分で歌いもします。

ひかり (ピアノにあわせて歌う)

荒野の果てに 夕日は落ちて

妙なる調べ 天より響く

グローリア イン エクセルシス デオ

サチコ クリスマス気分が盛り上がりますね。

大家 ねえ、せっかくだからあたしたちも一緒に歌わない？

楓 あ、いいですね。じゃあほら、三上さんも。耳栓なんかしてないで。

三上 みなさん確か僕に「勉強がんばれ」って言いましたよね!?

女性四人 (歌う) グローリア イン エクセルシス デオ

サチコ グローリア イン エクセルシス デオ。ラテン語で、「いと高き所に、神の栄光あれ」という意味だそうです。夜毎しつこく神様を讃えたことが功を奏したのでしょうか。牧村さんの壮絶なあの歌が、少しずつマシなものになってきました。さらに牧村さんに起こった変化は、それだけではありません。

牧村 あのー、もし……。

三上 ……………。えっ！

牧村 ひよつとして、お二階に入られた方ですか？

三上 ……ええっ？

牧村 近頃ときどきお見かけするので、新しく引越して来られた方なのかなあと
思いました。

三上 ええーっ!?

サチコ なんと牧村さんは、いつの間にか三上さんの姿が視えるようになっていた
ようです。

牧村 ……そうですか。公認会計士を目指していらっしやる。

三上 はい。数字を通して社会を見るのが面白そうだと思います。

牧村 資格を取るの、たいへん難しいと伺いますが。

三上 ええ。どこまで勉強すれば合格できるのかもわかりませんし、収入もないま
ま、いつまでこんな暮らしを続ければいいのかと、正直なところ、毎日不安で…
…

牧村 会社をお辞めになつてまで選ばれた道です。先のことなどよくよく考えず、
悔いの残らないよう、思う存分おやりになつたらいい。

三上 そうですよね。

牧村 人はいつ死ぬかわからない。誰もがそう言いますが、それが明日かもしれない
ことを、私たちはつい忘れてしまいがちです。今を大切に生きることです。あ
なたのようにお若い方なら尚更だ。

三上 ……仰るとおりだと思います。

牧村 ああ！ すみません。なにやら説教じみたことを！

三上 いえ。おかげさまで、ここるところいろいろあつて乱れに乱れていた気持ち
の整理ができました。ありがとうございます。

牧村 こちらこそ。お話しできてうれしかったです。

*

楓 へー、いいなあ。あたしも牧村さんになんか相談してみたい。

サチコ 楓さん、悩み事なんてひとつもないじゃありませんか。

三上 いやあ、最初は焦りましたよ。僕、いつの間にか死んじやってるんじゃないかって。

大家 牧村さん、とつてもいい人だったでしょ？

三上 あの歌声からは想像もつかないほど感動的にいい人でした。ちよつと泣きそうになりましたよ。ここに越してきてから、僕の将来についてちゃんと耳を傾けてくれたのは、あの人が初めてだったので。

ひかり だったら三上さんもぜひ一緒に歌いましょう。

三上 その「だったら」というのはどこから繋がっているんだろう……。

ひかり 楓さんから聞きましたよ。三上さんの「イサク」というお名前、「彼は笑う」って意味だそうじゃないですか。

三上 そうですね。「僕は歌う」って意味じゃありません。

ひかり 下あごが下がるといい声が出ないんですよ。笑うと口角こうかくがあがるでしょう？ 笑顔で歌うお手本を牧村さんに見せてあげてください。

三上 サチコさんに頼んでくださいよ。僕よりずっと付き合い長いんですから。

ひかり だってサチコさんや牧村さんの下あごがちゃんとあがつてるかどうか、私には見えませんから。残念ながら視えないのは下あごだけじゃありませんけど。

楓 下あごだけ視えてもちよつと怖いけどね。

三上 だからってどうして僕が……。

ひかり 牧村さんに成仏してほしくないんですか？

楓 え、なに？ 歌が上手くなったら牧村さんいなくなっちゃうの？

ひかり あれ？ 違うんですか？

大家 案外そうかもしれないわね。だってあの人、歌がまともになるにつれて、だんだん影が薄くなってきてると思わない？

楓 そう言えば、最近なんだか透明感が出てきたような……。

三上 まあ以前から軽く透けてはいましたけど。

楓 でも自分が死んでることに気がついてないんだよね？

大家 今回も気がつかないままあの世に行っちゃったりして。

ひかり そこらへんの仕組みはどうなってるんですか？ サチコさん。

サチコ さあ。私まだ成仏したことありませんから。

楓 知らないってさ。

ひかり サチコさんにもなにか心残りなことがあるんですよね？

楓 栗だよね？

三上 栗？

大家 ちょうど今頃の季節にこのアパートに越してきて、秋になったら裏の林で栗

拾いするのを楽しみにしてたのよね？

サチコ ええ。大好物だったもので。

ひかり なのに、栗の季節が来る前に？

サチコ いえ。栗を拾いには行けたんです。

楓 その時、イガ栗踏んで転んだんだって。

大家 打ちどころが悪かったのよねえ……。

サチコ 洒落じゃありませんけど、びつくりしました。

三上 それは確かに……死んでも死に切れないかもしれないですね。

楓 遠慮しないで言うから毎年一人で食べてるけどさあ。栗が好きなの同士、

一緒に楽しめたらどんなにいいかって思うよ。

ひかり ……聞きましたか？ 三上さん。

三上 はい？

ひかり 楓さんとサチコさんが一緒に栗を食べる夢はかかないませんが、三上さんと

牧村さんは、ともに歌うことが出来るんですよ？

大家 そうよ！ せっかくなかなえられる夢をやすやすとあきらめることないわ！

三上 それは別に僕の夢ではありませんから！

楓 まあそう硬く考えないでさ。時期が時期だし、クリスマスのちよつとした余興

だと思えばいいんじゃない？ 牧村さんもきつと喜ぶよ。

三上 ……では……クリスマス限定ということでは……。

サチコ 当初の目的がなんだったのかはさておき、私たちはクリスマスの夜、牧村さんと一緒に讃美歌を歌うことになりました。せっかくだからという大家さんの提案で、ひかりちゃんのピアノが栗林に運び出され、一夜限りの聖歌隊がここに誕生したのです。

牧村 なんと！ この重いピアノをお二人で運ばれたのですか！

楓 うーん、やつぱりサチコさんと三上さんのことしか視えてないのかあ。

サチコ 私はなにもしていませんよ。

牧村 では三上さんお一人で？ さすがお若い方は力持ちでいらっしやる。

三上 ああ、いえ……。

大家 やあねえ。みんなで頑張ったのに、三上さん手柄を独り占め？

ひかり (いくつか鍵盤を叩いてみて) よし。音は狂ってないですね。

牧村 やや！ ピアノから音がひとりでに！

三上 えーつとー、これは……自動ピアノなんです。

牧村 そうですね。これが「荒野の果てに」を自動で……。

ひかり 了解です！ 機械のように正確に弾いてみせましょう！

三上 ……すみません、滝田さん。

大家 ちよつと待って！ ひかりちゃんの名も上から読んでも下から読んでも同

じなんじゃない？

楓 ほんただ。よかったですね。田端とか真島とか、変に間違えて覚えなくって。

三上 いいから早く始めましょう。

ひかり あ！ ようやくヤル気が出てきましたか！

三上 寒いんですよ。

サチコ 聖夜にふさわしい静かな夜ですね。

牧村 はい。空気も澄んでいますし、この季節は歌うのにもってこいです。

楓 夏はうるさくてたまったもんじゃありませんからね。

三上 ……うるさい？

楓 ああ、この林ね、セミの大合唱がすごいんですよ。さすがのあたしも時々寝られないくらい。

三上 ……ちよつと……大家さん……。

大家 きゃー。バレちゃった！

三上 うちのアパートは静かなのだけが取り柄だつて……。

ひかり さあ、いきますよ！ みなさん準備はよろしいですか？

ピアノが鳴り始め、全員が歌い出す。

合唱 荒野の果てに 夕日は落ちて 妙なる調べ 天より響く

グローリア イン エクセルシス デオ

羊を守る 野辺の牧人 天なる歌を 喜び聞きぬ

グローリア イン エクセルシス デオ

三上 お上手じゃないですか、牧村さん。

牧村 だとしたら、みなさんとご一緒出来たおかげです。

大家 どうなの？ 牧村さん、成仏しちゃいそう？

楓 それより三上さんが笑ってますよ。

ひかり いいですよー！ そのまま笑顔で歌いましょう！

合唱 御歌を聞きて 羊飼いらは 馬槽に伏せる 御子を拝みぬ

グローリア イン エクセルシス デオ

サチコ やがて時が流れ、栗林ハイツはすでになく、この愉快的愛すべき人たちももういない……そんな日がいつかはやってきます。私だつて、この先いつまでここにいられたものか……。ですがそんな不安や寂しさを、今宵の奇跡は忘れさせてくれました。あ、奇跡と呼ぶのは大げさだという苦情は一切受け付けません。

だってあり得ないでしょう？ 寒空の下、栗林の中で、こんなおかしな顔ぶれが、
クリスマスキャロルを歌っているなんて。

合唱 今日しも御子は 生まれ給たまいぬ よろずの民よ 勇みて歌え

グローリア イン エクセルシス デオ

グローリア イン エクセルシス デーオー アーメン

おわり